

## Q & A

- Q** クォーター制を導入するは、一部の学科やコースだけですか。
- A** 国際文理学部すべてで導入されます。大学院はセメスター制のままです。
- Q** 第1・第3クォーターに在学し、その後休学する場合の単位の修得はどうなりますか。
- A** 各学期末に各クォーターで履修した科目を修得することができます。
- Q** 学期の初めに休学や留学をしている場合、第2・第4クォーターの履修はどうしたらいいですか。
- A** 第2・第4クォーターに設けられている履修変更・取消期間に履修登録を行ってください。
- Q** インターンシップや留学に行きたいため、あるクォーター期間において講義を履修しないことは可能ですか。
- A** 可能です。ただし、あくまで時間割の履修上の工夫により可能となりますので、必ずいつでも可能とは限りません。
- Q** 卒業要件や既に取得した単位の影響はありますか。
- A** 平成29年度以前の入学生の卒業要件(卒業に必要な単位数)は、入学時の履修規程(入学時に配布された学生便覧に掲載)から変更はありません。また、平成29年度までに修得した単位への影響もありません。
- Q** 教職課程に変更はありますか。
- A** 基本的に変更はありません。司書教諭科目は、集中講義で開講されます。

### 【履修計画例】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	前期						後期					
	第1クォーター	試験	第2クォーター	試験	夏休み		第3クォーター	試験	第4クォーター	試験	春休み	
<b>海外の大学で学んでみたいAさん</b> 国際プログラムを利用して、英語力を向上させるだけでなく、様々な国の言語や文化を体験したい。	授業履修		海外留学				授業履修		授業履修			
<b>積極的に社会体験をしたいBさん</b> ビジネスの現場を体験することで自己の適性を確認し、興味のある職種や企業を見つけたい。	授業履修		授業履修		インターンシップ		授業履修		インターンシップ			

# 福岡女子大学

2018年4月

# クォーター制 導入について

福岡女子大学は「次代の女性リーダーを育成」という理念の下、国際的な視野と幅広い教養を持った人材の育成を行ってきました。この人材育成をさらに推進するためには、多くの学生が、学外で多様な活動を経験することが有効であると考えられます。クォーター制は、そのことを推進するための方策のひとつとして導入するものであり、海外留学や国内外のインターンシップなどに参加しやすくするための制度です。また、短期集中的な学修による勉強の効率化も期待されます。

## 3つのメリット



### 海外留学しやすくなる

—柔軟なカリキュラムの構築—

学期と休業期間を組み合わせるなど工夫調整することで、海外留学に参加しやすくなります。



### 集中的に学修が可能

—教育効果の向上、教育の質の担保—

週2コマ×8週の授業により短期集中的に学修することができます。



### 多様な学外活動

—長期学外学修の推奨—

国内外のインターンシップに参加するなど、自主的な学修の選択肢が広がります。



公立大学法人  
**福岡女子大学**  
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

お問い合わせ | 学務部 教務企画班

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
Tel.092-661-2417 Fax.092-661-2415  
<http://www.fwu.ac.jp/>

## 📍 クォーター制とは？

前期・後期の授業期間をそれぞれ半分に分けた4つの授業期間を導入したものです。この各授業期間を「クォーター」と呼び、各8週で授業が行われます。

### 2017年度まで

#### セメスター制

週1コマ×16週

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
前期						後期						
授業						試験	夏休み		授業		試験	春休み

2018年4月  
から

### 2018年度から

#### クォーター制

週2コマ×8週

週1コマ×8週

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
前期						後期								
第1クォーター		試験	第2クォーター		試験	夏休み		第3クォーター		試験	第4クォーター		試験	春休み

## 📍 授業の開講パターン

科目の特性や学修効果に合わせて下記のパターンで授業を開講します。2学期クォーター制の学年暦にあわせて開講されます。

### 1 週2コマ×8週(曜日セット開講)

月曜日と木曜日、水曜日と金曜日など週2コマ授業を行います。

### 2 週2コマ×8週(2コマ連続開講)

1・2限連続や3・4限連続など、2つの授業時間をつなげて授業を行います。

### 3 週1コマ×8週

語学(AEP・AJP・外国語)・情報・健康スポーツ・FYSなど週1コマ授業を行います。授業の回数が従来の半分となることに伴い、1科目当たりの単位数も半分にになります。このため、多くの科目は二分割された前半部分と後半部分の両方を履修することが基本になります。

### 4 その他

上記以外にも科目の特性にあったパターンで授業を開講されるものがあります。

	1	2	3	4	5
月		1			3
火			2	2コマ連続	
水			1		
木		1			
金			1		

## 📍 授業の開講時期(予定)

第1クォーター	4月5日～6月4日
第2クォーター	6月6日～8月1日
第3クォーター	9月25日～11月21日
第4クォーター	11月26日～2月1日

## 📍 履修登録、履修変更・取消

履修登録は、前期・後期の当初に各1回ずつ行います。時間割を確認のうえ、第1・第2クォーターに履修する科目は4月の履修登録期間に、第3・第4クォーターに履修する科目は9月の履修登録期間に登録してください。

シラバス等で「〇〇学1,2の順に履修するように」などの履修順序の指示がある場合、それに従ってください。ただし、この場合において、「〇〇学1」が不合格になったときでも、「〇〇学2」の履修は可能とします。 ※卒業論文/卒業研究演習は、現行どおり通年の科目です。

一方、履修変更・取消期間は、各クォーターごとに設けます。

履修[登録]期間		履修[変更・取消]期間	
前期 第1・第2クォーター	4月初旬	第1クォーター	4月中旬
		第2クォーター	6月中旬
後期 第3・第4クォーター	9月下旬	第3クォーター	10月中旬
		第4クォーター	12月上旬

## 📍 試験・追試験

試験は、原則として各クォーター終了時に実施されます。

追試験は、特別な理由がある場合に限り、各クォーターごとに行います。

## 📍 成績発表

成績は、各クォーターごとに発表します。ただし、単位修得時期は現行どおり学期末のため、成績証明書に修得単位が反映されるのも学期末です。

成績発表日		単位修得時期
第1クォーター	6月下旬	学期末(9月末)
第2クォーター	8月下旬	
第3クォーター	12月下旬	学期末(3月末)
第4クォーター	3月中旬	

## 📍 新旧科目の読替え

(ここでは、平成30年度からのカリキュラムの科目を「新科目」、平成29年度以前のカリキュラムの科目を「旧科目」とします。)

2学期クォーター制への学年暦の変更・カリキュラムの改正により、全科目がクォーター制に対応しています。そこで、平成29年度以前の入学生は、「旧科目」に対応する「新科目」を受講し単位を修得することで、「旧科目」の単位を修得したものとみなす、「科目の読替」を行います。平成29年度以前に履修した科目の再履修の場合も、履修方法は同じです。

「科目の読替」に該当する「旧科目」の成績は、「新科目」2科目の成績の平均となります。ただし、2科目のうち、いずれか一方が不合格の場合、「旧科目」の単位は修得できません。

平成29年度以前の入学生は、新旧対応表を確認のうえ、「新科目」を履修してください。新旧対応表は現在準備中です。

## 平成30年度以降も変わらないこと

## 📍 授業時間

1時限あたりの授業時間は90分で変更はありません。

## 📍 CAP制

クォーター・学期ごとの上限設定はなく、「年間45単位」(教職科目等の除外科目あり)です。また、1年間の成績GPAが3.0以上の場合、その翌年は年間53単位まで履修可能であることも変更はありません。

## 📍 GPA制度

計算方法は現行のとおりです。なお、GPAが更新されるのは、クォーターごとではなく、単位修得時期と同様に各学期末です。

## 📍 休学

休学は6カ月以上修学できない者でなければならないため、1クォーターでの休学は認められません。第2・第3クォーター、第4・第1クォーターの休学は可能です。

(学則第30条)病気又はやむを得ない事由により、引き続き6月以上修学することができない者は、保証人連書のうえ、休学を申請してその許可を得て休学することができる。

## 📍 卒業

単位修得時期が学期末のため、卒業の時期に変更はありません(3月又は9月に卒業)。また、卒業判定を受ける時期にひと月でも休学期間があると卒業できません。

## 📍 授業料

学期ごとに半期分の学費(267,900円)を納期限(前期:4月25日、後期:10月25日)までに納付してください。